

磯づたひ日毎あゆめば幼子も

波をおそれずなりにける哉

佐々木信綱

いとせめて波にむかひて語らはむ

人に語らむおもひならねば

外國にある友に 東 条 子

ありし世をしのぶが岡にきて見れば

きみとながめしはな咲きにけり

折にふれて 全 人

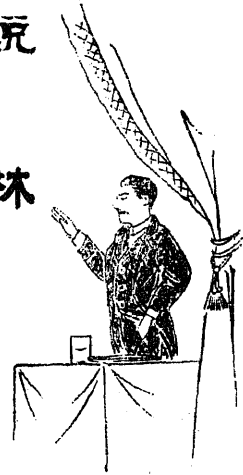
月に泣き花にうかる、みやひをの

あまりさはなる世にもあるかな



説 林

保育法の改良



吾人は屢「六ヶ敷つても説明すれば子供に分ります」との言譯によりて、如何にも三才乃至五六才の幼兒に取りて、不適當なる程六ヶ敷きことを幼稚園に於て授くるを見るなり。唱歌に於て然り談話に於て然り。手技に於て然り、而して最も幼兒の生命とすべき遊戯に於て亦然らざるなし「説明すれば分る」なる程子供とても、説明すれば分るべし。然れども、大人の説明によりて